

Funehiki High School News vol.141

～がんばる船高生～
ATTENTION!

第21回 実用英語技能検定準2級に合格 赤石澤 直樹さん

本校では、各種検定・資格の取得を奨励しています。3月に行われた実用英語技能検定では、2級2人(当時3年生)、準2級1人(当時1年生)が見事に合格を勝ち取りました。また、今回の検定試験受験に際して、上位級に挑戦する生徒には本校教育振興対策協議会より検定料の一部を御支援いただきました。

準2級に合格した赤石澤直樹さん(2年 船引中出身)に話を聞きました。

——検定を受けたきっかけは？

もともと英語が得意だったこともあり、高校在学中に英検2級まで取得するために、できるだけ早い時期に準2級の取得をしたいと思い、挑戦しました。

——試験の対策や、工夫したことは？

まずは、文法を中心に学習を行い、受験の1か月前から過去問に取り組みました。また、週に3日程度英語の先生に面接の個別指導をしていただきました。文法の学習が面接にも大いに役立ちました。また、部活動(サッカー部)では、キャプテンが練習メニューを工夫してくれたこともあり、どちらも精一杯取り組むことができました。部の仲間にも応援されていると感じました。

——実際の試験はどうでしたか？

面接の内容が、事前に英語の先生と練習していた内容とほとんど同じだったので、自信を持って答えることができました。終わった後は、「いけた!!」という確信がありました。

——今後は？

6月には2級に挑戦したいです。その後も得意な英語を生かして大学に進学し、将来は英語の教員になりたいと考えています。



◀赤石澤直樹さん

◆入学おめでとう

4月8日、平成31年度入学式が行われ、普通科105名が入学しました。

入学式では、新入生を代表し、山口絢音さん(常葉中出身)が「校訓である『自律』を胸に刻み、自分の夢を見つけ、それを実現するために挑戦を続け、自己を高めていきます。」と誓いの言葉を述べました。平成最後の入学生は新しい時代の幕開けとなる今年度、大きな希望を胸に高校生活をスタートさせました。



◆「夢を育む講演会」のご案内について

田村市と本校の共同事業「夢を育む講演会」を開催いたします。市民の皆様もぜひお越しください。

なお、講演会後は元Jリーガー西嶋弘之氏によるサッカー教室を行います。(詳細は本校HPに掲載)

- 日時：5月15日(水) 午後1時15分～2時45分
- 会場：本校第一体育館
- 講師：松木安太郎(サッカー解説者・元日本代表選手)
- 申し込み方法：本校HPから申込書をダウンロードし、本校事務室へ提出してください。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

大海を知る



John Brandt

ジョン・ブランドンさん

(アメリカ合衆国 ミズーリ州出身)

田村市に来て4年目

身も初めて聞いた話を信じていたからです。私は自分が初めてのことを聞いた時、それだけで満足していましたが、もっと学ぶための努力をしなかつたので、私は真実に対し、無知な状態のままにしてお

きました。

つまり、私は井の中の蛙だったのです。誰かが井戸の外の大海について教えてくれたら、その教えを受け入れても、私は自分自身の力で大海を見るために井戸から這い上がろうとはしませんでした。それはよいあり方ではないでしょう。大海は真実であり、誰もが自分自身のために大海を見たいと思ってみてはどうでしょうか。真実のために他人を信頼することよりも、自分自身のために真実を見つけ出そうと努力することが私たちにとってとても大切なことだと思います。



ある人々は、あなたが知らないことを知っていると言うでしょう。彼らが言っていることが真実であることもあるでしょうが、すべてを知っているわけではないかもしれません。その不完全な話を、直接ではなく、また聞きをした人はすべて真実だと信じてしまうことがあります。

私がそのように言うのは、私自

海	を	越	え	て	英	語	指	導	助	手	ペ	ン	リ	レ	ー	No.	70
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	----

日本とアメリカの卒業式



Garrett Kaufman

ギャレット・カフマンさん

(アメリカ合衆国 カリフォルニア州出身)

田村市に来て3年目

式が終わると、卒業生は式場の外で家族と会い記念の写真を撮ります。日本のように下級生は卒業式に出席せず、家族と来賓だけが式に出席します。日本とアメリカでは似たような卒業式をしますが、その中で行われることには大きな違いがあると思います。

都路中学校の生徒たちの卒業式が3月にありました。それは生徒とその家族にとって、とても感動的なものでした。式はとても厳粛で、重々しい雰囲気でした。アメリカの学校でも日本のように卒業式が行われ、校長先生が生徒一人ひとりに卒業証書を手渡して握手をします。特定の歌を歌うことはありませんが、その代わりにその年の学校の旅行やいろいろな行事の写真をビデオで見せます。アメリカの卒業式でも保護者はとても感動します。日本では多くの来賓が紹介され、その中の数名が挨拶をされますが、アメリカの中学校では校長先生と来賓1名だけが挨拶をします。



▲高校の卒業旅行で友人と